

海岸・河川の南海トラフ地震・津波対策の促進

～浦戸湾の三重防護の推進～

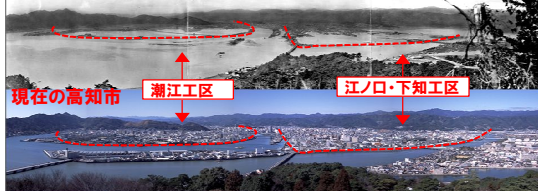
◆県人口の約45%が集中し、都市機能が集積する県都・高知市

- 未整備で南海トラフ地震が発生した場合
- ◆約1ヶ月半の長期浸水（浸水範囲2,800ha）
- ◆12万人の長期避難

◎地震・津波対策（三重防護+二級河川）による効果

- ◆L1 津波時の浸水被害をゼロに！
- ◆L2 津波時に対しては浸水期間の短縮による社会経済活動の早期回復へ！

昭和南海地震直後の高知市（地盤沈下 約1.2m）



◆浦戸湾の地震・津波対策（海岸・河川）

- 凡例
- 三重防護 国直轄 (Pink line)
 - 三重防護 県事業 (Blue line)
 - 直轄高知海岸 (Green line)
 - 河川事業 (Cyan line)

河川事業(県事業)

④ 浦戸湾に流入する河川堤防の耐震対策



高知海岸(国直轄)

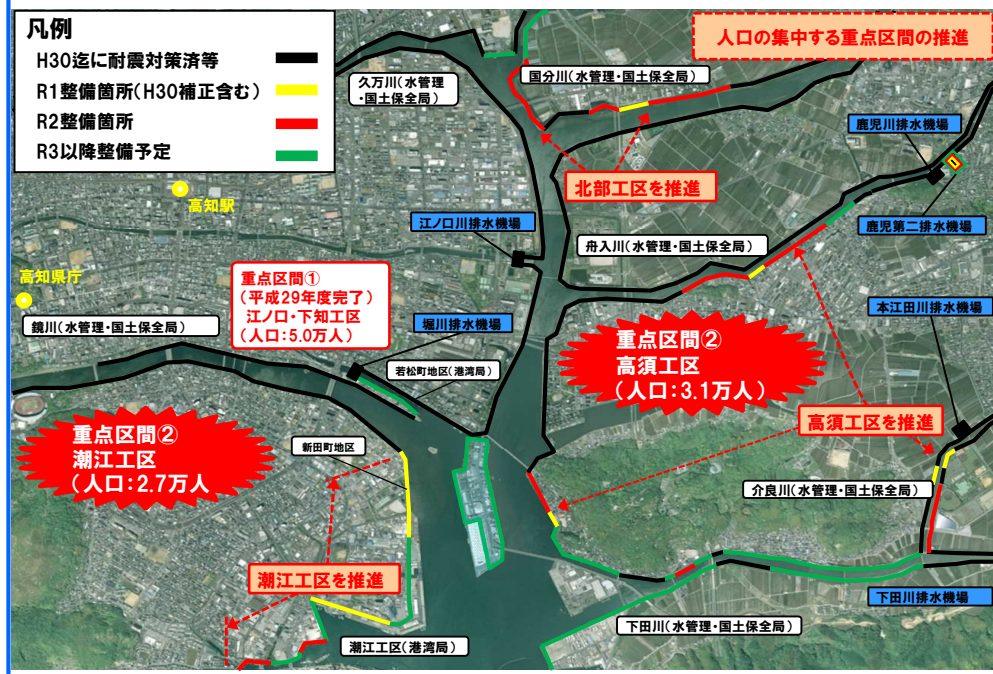
⑤ 直轄高知海岸の海岸堤防の地震津波対策

三重防護(国直轄、県事業)

- ① 第1ライン…高知新港の防波堤の延伸と粘り強い化（港湾事業）
- ② 第2ライン…湾口部の津波防波堤、海岸堤防の耐震対策・嵩上げ
- ③ 第3ライン…浦戸湾内の海岸堤防の耐震対策・嵩上げ

◆県事業の進捗状況（海岸・河川）

- 凡例
- H30迄に耐震対策済等 (Black line)
 - R1整備箇所(H30補正含む) (Yellow line)
 - R2整備箇所 (Red line)
 - R3以降整備予定 (Green line)



(長期浸水対策のため、河川堤防については耐震対策を先行実施中)

◆整備状況（国直轄・県事業）

河川事業(県事業)



高知海岸(国直轄)



三重防護(高知港海岸)

(国直轄)



(県事業)



- 浦戸湾外縁部の堤防の耐震化を継続
- 湾口部津波防波堤、タナスカ工区の調査設計
- 潮江工区、高須工区の堤防耐震工事を継続

《政策提言》

- ・高知市の被害最小化で県全体の早期復旧・復興につながる地震・津波対策を早急に完成させるには、**事業の着実な推進**が必要です。
- ・そのための**予算の重点配分**や、**3か年緊急対策後も中長期的視点に立って必要・十分な予算の確保**をお願いします。